

濃縮水溶性珪素umo「命の源」が進化！

シリカ倶楽部通信

No.01:20170801

水溶性珪素で身体が若返ることを実感して来ました！

この10年程の間、日本の食と環境保全の切り札として「里山の復活」を掲げて活動して来ました。

その中で「農地に珪素が無くなっていることが連作障害の主要な原因である」こと、そして「畑でレタスやキャベツが腐る」のも珪素不足による細胞膜の形成不全によることに気が付きました。

また現代人に穀物（糖質）の過剰摂取で体細胞の糖化（硬化、壊死）が広がっていることと、そうした危機的状況を緩和し生き延びる為に、身体が自らががん細胞を作って対応しようとしているメカニズムを知りました。

そこから直接私たちの身体に水溶性の珪素を補充することで、体細胞が蘇生、特に毛細血管が弾力性を取り戻し全身の細胞が若返ることを実感して来ました。（血管年齢20歳をキープしています！）

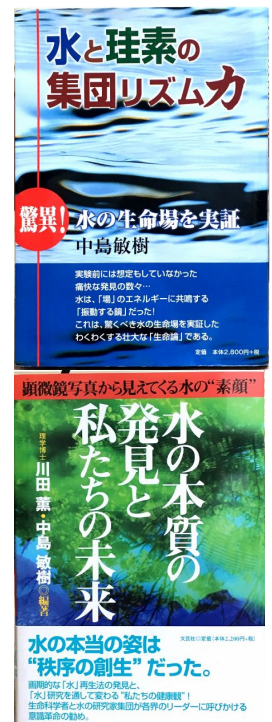
「水と珪素とエネルギー」が会うところで生命が始まる！

3年程前から、セミナー「毒と農からの脱出作戦（New Exodus Operation）」で以上の基本原理をお話し、具体的な対策として水溶性珪素を飲用することをお奨めして来ました。

その中で「何故こうした現象が起るのか？」と水溶性珪素へのより深い関心が生まれました。

調べるうちに、これは納得できる内容だと感ずる「水と珪素の集団リズム力」「水の本質の発見と私たち未来」の本と、その著者である中島敏樹さんに出会いました。そして中島さんのご紹介でこれらの本の内容を顕微鏡写真と測定データで実証的に示して来られた澤本三十四さん（株式会社澤本商事会長）とお会いし、お二人から種々お教え頂きました。（以下文責池田）

- ①水は隙間だらけの物質であり、水分子の集団の間に他の物質を大量に取り込むことが出来る。（コップ1杯の水の88%が隙間！）
- ②地球上にあって、水は僅かな量の珪素が溶け込んで振動している状態こそが、本来の安定した状態である。（7PPM：100万分の7の微量）
- ③この珪素を含んだ水に光や熱のエネルギーを与えると、3日後に自己運動する小さな粒が発生する。これが生命の原点であり、珪素不足を補うことは生命力の向上になるだろう。
- ④ミネラル等が溶け込んでコロイド状になっている水の集団に、光・熱・想い等のエネルギーを与えると繋がり方が変化し、顕微鏡写真で模様の変化として確認出来る。



自然界の水が放射能の影響でミネラルの吸収が悪くなっている！

農業用水、水道水、野菜の絞り汁、ペットボトルの飲料水等を、実際に顕微鏡で覗かせていただき、また撮影された写真を見せていただきました。それらには帯状に凝集したミネラル類が映っていました。

現在日本の殆どの地域には、世界中の核実験や原発事故由来の放射性物質（セシウム同位体等）を含んだPM2.5が降り注いで居り、その放射能によって水に溶け込んでいるミネラル類が凝集する現象が起っています。

直接人体が被曝して危険なレベルではありませんが、ミネラルが凝集し身体への吸収が悪くなっているのです！

凝集を解いて身体への吸収を飛躍的に改善！

この状況は水溶性珪素も例外ではありません。そこで上下に振動を与えるタンピングマシンにボトルを載せ、横方向の振動エネルギーを出すセラミックボールで囲んだ上で、数分間上下に微振動を与えて下さいました。

この処理済液を顕微鏡で覗くと、先程まであったミネラルの塊が無くなり、すべて微細粒子になっていました。

シリカ倶楽部では、こうして凝集を解いて細かくきれいに分散した処理済の濃縮水溶性珪素「umo 命の源」をお届け可能です。粒子数で約20倍程度に微細化していますので、身体への吸収の飛躍的改善が期待されます。